

教育DXレポート

教職員対象 私学経営セミナー（5/26京都開催） AIに奪われる授業、AIを超える授業

～いま、私たちが育てる“学力”とは～

2026年4月、高市首相は経済財政諮問会議での議論を踏まえ、「年度内の生成AI活用ガイドラインの改訂」と「学習指導要領の改訂・全面実施を待たずに、全国の学校でのAI教育の前倒し」をする方針を示しました。これを踏まえて、本セミナーでは、生成AIの学習利用と活用を前提とした授業設計のあり方について取り上げました。

生成AI時代の授業設計

セミナー前半では、OECDの最新の調査結果（2026年）をもとに、利便性を優先した生成AI利用がもたらす課題を整理しました。生成AIの安易な学習利用は「学習のショートカット」を招き、本来知識の習得に必要な認知的負荷が減少することで、思考力育成が阻害されるリスクがあることを指摘しました。一方で、生成AIを「答えを直接与えるのではなく、順序付けられた質問を通じて学習者が理解を深めるように導く」ツールとして設計することで、生成AIを単なる知識伝達ツールではなく教育的な意図をもって設計された思考促進ツールとして活用できることをお伝えしました。

セミナー後半では、生成AIの活用を前提とした授業設計の考え方を紹介しました。生成AIのカスタム機能（Geminiの場合、Gem）で授業者の意図を反映した対話相手を作成して生徒に共有することで、生成AIが生徒同士の対話と深い学びを促進する可能性について、具体例を用いて説明しました。

最後に、これからの教員には、AIに代替されない「人間ならではの専門性」を中核に据えつつ、AIと協働して生徒の学習プロセスをデザインしていく「教員&AIチームング」の役割が求められることを強調しました。

セミナーに参加された先生方からは「授業づくりの方向性について、これからのヒントをいただけた」「生成AI利用の授業展開の例を知ることができ、明日から取り入れようと思った」「教員がどのような部分で役割を果たすことが必要かをよく理解できた」といった感想が寄せ

られました。一方で、生成AIが生徒の思考力育成を阻害することに対する懸念や、生成AIの校内利用に関するルールづくりをどのように進めていけばよいか分からないといったお悩みも挙げられました。

生成AIと向き合うために

生成AIの急速な進歩と普及に対して、学校教育は生成AIとどう向き合っていくかが問われています。単に「生徒に生成AIを使わせるべきだ／利用を制限すべきだ」の二元論に留まらず、「生徒の成長のためにどのような活用方法があるか」「生徒の思考力育成を阻害しないために、どのような部分で慎重になるべきか」ということを真剣に議論していく必要があります。そのために、各学校で以下のことに取り組んでいく必要があります。

(1) 教員のマインドリセット：

AI時代に育成すべき学力観についての共通理解の形成と「生成AIをどのように学習に用いさせるか」という学習設計の検討

(2) 生徒の学習に対する価値観のアップデート：

「自分で考えるべきこと」と「生成AIに委ねてよいこと」を適切に判断できる力と態度の育成

(3) 情報リスク・情報リテラシーの共有：

各校の生成AI活用ガイドラインの策定と安心・安全に生成AIを利用できる環境整備

生成AIに生徒の学びの主導権を奪われることなく、教員と生成AIが協働して生徒の思考を促す学習環境を構築していくことが、これからの学校教育に求められる重要な使命であると考えます。

コアネット教育総合研究所のICT支援員、生成AI活用研修サービス

コアネット教育総合研究所では、生成AIの活用状況に応じて、教職員研修、生徒対象講座、生成AI利用ガイドライン作成支援、校務・学び・学校全体でのDX・AI活用支援を行っています。目的に合わせた支援をご提案します。ぜひお気軽にご相談ください。



学校教員向け生成AI研修・生徒向け生成AI出張授業

これからの時代に必要な生成AIの基礎知識や効果的な生成AI活用方法を学校教員向け研修や、生徒向け出張授業の形式でわかりやすくお伝えします。

学校教員向け生成AI研修例

- ・学校教員が押さえておきたい生成AI基礎知識・リテラシー
- ・教育現場における生成AIの活用事例
- ・AI活用時代に求められる資質・能力とその育成方法 等



生徒向け生成AI出張授業内容例

- ・生成AIの基礎知識、生活の中にあるAI
- ・生成AIを活用するメリット、リスクと著作権等リテラシー
- ・生成AIの活用例と社会で必要なスキル
- ・実際に生成AIを体験する 等



内容・実施時間、費用はご要望に合わせて柔軟に対応可能です。詳しくはコアネット教育総合研究所までお問い合わせください。

コアネット私学教育フォーラム2026

詳細はイベント特設サイトをご覧ください。

生成AI活用を前提とする授業設計モデル

—— AIとともに生徒のコンピテンシーを高める教科学習のあり方とは

講師

佐々木暢 コアネット教育総合研究所
益川弘如氏 青山学院大学教育人間科学部 教育学科 教授／
青山学院大学学習科学青山研究所 所長

生成AIで学びと学校運営をどう変えるのか

—— 生成AIの効果的な活用手法と環境整備に必要なマネジメント

講師

岡田育也 コアネット教育総合研究所 新教育推進室 室長

生成AIと生きる社会で必要な力

—— 生徒と教師に求められるAIリテラシー

講師

川田脩平 コアネット教育総合研究所 新教育推進室 副主任
田中博之氏 早稲田大学教職大学院 教授

お問い合わせはこちら

住所 〒224-0003
横浜市都筑区中川中央1-26-10

TEL 045-914-3005
(担当：岡田、川田、増田)

E-mail info@core-net.net

ICT活用に役立つ情報公開中

URL www.core-net.net/ict/

教育と学校経営専門のシンクタンク&コンサルティング企業



コアネット教育総合研究所

